

# 市議会から こんにちは

NO. 62

令和3年  
7月25日 発行

(6月定例会)



## 日光杉並木公園「大水車」

日光杉並木公園に設置されている「大水車」は、令和2年（2020年）10月に改修されました。直径10m、幅は80cmで、日本ではまれに見る巨大な水車です。水車の形式は、下掛水車で、国産ヒノキ材を使用しています。

ゆっくり回る水車と流れ落ちる水の音で、一時の安らぎを感じてみてはいかがでしょうか。

## おもな内容

6月定例会で審議された議案と結果	2
一般質問	4
委員会活動報告	9
議会のおもな動き	11
次回定例会会期日程予定	11
市議会ってどんなトコ？	12
表紙写真を募集します！	12

# 議 会 活 動 の 様 子



定例会議案審議

一般質問におけるパネル等使用検討の様子

第 議 案	第 議 案	第 議 案	第 議 案	第 議 案	第 議 案	選 挙	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	事 件	名
第 71 号 案	第 70 号 案	第 69 号 案	第 68 号 案	第 67 号 案	第 66 号 案	選 挙	報 告 第 8 号	報 告 第 7 号	報 告 第 6 号	報 告 第 5 号	報 告 第 4 号	報 告 第 3 号	報 告 第 2 号	報 告 第 1 号	報 告 第 0 号	事件	議決結果
農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて	専決処分事項の承認について 〔令和3年度(2021年度)日光市一般会計補正予算(第2号)〕	専決処分事項の承認について 〔日光市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定〕	専決処分事項の承認について 〔日光市税条例等の一部を改正する条例の制定〕	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	令和2年度(2020年度)日光市下水道事業会計予算繰越計算書について	令和2年度(2020年度)日光市水道事業会計継続費繰越計算書について	令和2年度(2020年度)日光市水道事業会計継続費繰越計算書について	令和2年度(2020年度)日光市事故繰越し繰越計算書について	令和2年度(2020年度)日光市繰越明許費繰越計算書について	令和2年度(2020年度)日光市繰越明許費繰越計算書について	専決処分事項の報告について 〔損害賠償の額の決定及び和解〕	専決処分事項の報告について	専決処分事項の報告について		
原案同意	原案同意	原案同意	原案承認	原案承認	原案承認	当 選	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告	報 告		

日光市議会定例会を5月31日から6月17日まで、18日間の会期で開催しました。今定例会で審議した案件は、報告7件、選挙1件、執行部提出議案25件でした。

## 令和3年6月定例会で審議した議案と結果

## 令和3年6月定例会の 議員別賛否一覧

○・・・賛成 ●・・・反対  
(賛否が分かれたもののみ掲載)

議案番号	第88号
	日光市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
採決結果	可決
可：否	20：2
青田 兆 史	○
亀井 崇 幸	○
荒川 礼 子	○
山越 一 治	○
和田 公 伸	○
斎藤 久 幸	○
福田 悦 子	●
阿部 和 子	○
佐藤 和 之	○
齋藤 文 明	○
筒井 巖	○
田村 耕 作	○
伊澤 正 男	○
齊藤 正 三	○
斎藤 伸 幸	○
福田 道 夫	●
瀬高 哲 雄	○
山越 梯 一	○
生井 一 郎	議長のため採決には加わらない
小久保 光 雄	○
川村 寿 利	○
大島 浩	○
三好 國 章	○

第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	事件	議決結果	
81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会に意見を求めることについて	農業委員会の委員の任命につき議会に意見を求めることについて	議決結果
人権擁護委員の候補者の推薦につき議会に意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会に意見を求めることについて	農業委員会の委員の任命につき議会に意見を求めることについて	農業委員会の委員の任命につき議会に意見を求めることについて	議決結果								
原案適任	原案適任	原案同意	原案同意	議決結果								

第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	第議案号	事件	議決結果	
90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	損害賠償の額の決定及び和解について	日光市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議決結果
損害賠償の額の決定及び和解について	財産の取得について 〔災害対応特殊救急自動車整備事業〕	日光市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	日光市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	日光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	日光市税条例の一部を改正する条例の制定について	日光市職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市職員の特殊勤務手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	日光市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	日光市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議決結果
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	議決結果

# 一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問することで、定例会ごとに行われます。

日光市議会では、質問事項をあらかじめ市執行部に示す「通告制」を採用しており、これに基づき9名の議員が20項目の質問事項を事前に通告し、6月11日・14日の2日間にわたり行われました。一般質問における議員1人の持ち時間は、市執行部の答弁を含め50分です。

議員顔写真下の二次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、その議員の一般質問の録画中継を視聴できます。



掲載内容は質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は市議会ホームページで視聴できます。

日光市議会 中継

検索

**阿部和子議員**：生活困窮者自立支援制度、在宅介護オアシス支援事業、生活支援体制整備事業の現状の対応について伺う。

**斎藤健康福祉部長**：生活困窮者自立支援については、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業、就労準備支援事業などの6事業に取り組んでいる。在宅介護オアシス支援事業では、15施設が開設され子育ての支援や障がい者・高齢者の孤独感の解消、生きがいの増進等を図っている。また、生活支援体制整備事業では、社会資源をまとめた地域カルテの作成、地域の関係機関等のネットワーク構築、住民主体の集いの場の開設支援などに取り組んだ。

**議員**：在宅介護オアシス支援事業では、補助金交付要件として一日当たりの利用者を5人以上としているが、満たせず補助金精算となったケースは。健康福祉部長：要件を満たしていない施設が2か所あったが、サービスが低下しないよ



阿部 和子 議員  
(市民フォーラム志向)

動画視聴▶



## 重層的支援体制整備事業開始について(ダブルケア等への支援)

**議員**：生活支援体制整備事業は、どのような形で実施状況を周知しているのか伺う。

**健康福祉部長**：居場所づくり等ではガイドブックを作成し周知を図った。

**議員**：重層的支援体制整備事業開始にあたっての課題は。

**健康福祉部長**：多くの機関の機能を包括した多機関協働事業者が重層的支援会議を主催し、各機関の連携やプランの適切さ、社会資源の把握・創出等について検討を行うため、綿密な支援フローが必要である。現段階の課題は、相談支援をするために不可欠な相談者の属性や支援制度に精通した人材の確保や育成、相談者のプライバシー保護の問題、社会資源の確保及び創出等である。

**議員**：プラン作成には専門性や調整力が必要だが、該当する人材について伺う。

**健康福祉部長**：高齢、障がい、児童に精通した人材が必要。人材育成がこの事業に移行するポイントであると考えている。

**議員**：分野ごとの支援体制を整理・統合するものであり、最大の市民サービスにつながるものであると思うが、市長の見解を伺う。

**粉川昭一市長**：効果や課題などについて調査・研究を始めた。既存の事業と比べ、導入できるかどうか検討していく。



大島 浩 議員  
(グループ響)

動画視聴▶



## 新たな財源の確保について

**大島浩議員**：公共施設ネーミングライツの売却による収入確保について、当市の現状、メリットや課題について伺う。

**鈴木財務部長**：ネーミングライツは新たな財源確保の一つの手段である。加えて、スポンサーとなる企業と市のつながりが深まることで地域活性化への波及効果も期待できるところから、積極的に取り組むべきと捉え導入に向けて選定の準備を進めている。ネーミングライツが成立するには、企業側にとって十分な広告効果を生む公共施設を提供できるかが課題であり、民間業者の視点を生かした提案を受ける仕組みづくりを検討していく。

さらに、市ではこれまで包括的連携協定を締結し、民間企業と協働事業を実施し関係強化に努めてきたことから、ネーミングライツ事業についても、その関係性を生かして実効性を高めていく。

**議員**：日光市には様々な文化施設があるが、県内の状況をみ

るとスポーツ施設が有効である。国体開催を控えている時期であるが、どう考えているか伺う。

**財務部長**：まさに絶好の機会であると考えている。冬季大会の会場となる霧降スケートセンター・細尾ドーム、本大会の会場となる日光市ホッケー場・大沢体育館・日光運動公園について、企業にとつてのメリットを精査している。特に冬季大会は来年1月であり、そこから着手したい。

**議員**：ネーミングライツの契約は簡単ではないと思うが、市長の考えを伺う。

**粉川昭一市長**：前例がない取組であり、また時間がない中であるが早急に取り組みたい。包括的連携協定を締結している企業などを含め、こちらから出向き、必要であればトップセールスも行う。

(その他の質問)

○市道路線の安全対策について



©TOCHIGI SC



福田 悦子 議員  
(日本共産党)

動画視聴▶



## 新型コロナウイルス感染症防止対策について

**福田悦子議員**：64歳以下のワクチン接種について伺う。

**斎藤健康福祉部長**：今後始まる64歳以下の方については、予約が集中して混乱することのないよう、年齢階層別に受付時期を分けることなどを検討している。

**議員**：通所や訪問など在宅介護の従事者や教育関係者などを優先する考えは。

**健康福祉部長**：今後、高齢者に続き、基礎疾患のある方などが接種の対象となっていく。その次、あるいは並行して小中学校の教職員や幼稚園・保育園の保育士、放課後児童対策施設等の従事者、消防職員等を対象として検討しており、介護従事者も合わせて検討したい。

## コロナ禍での貧困対策と暮らし支援について

**議員**：生活保護申請時の親族への扶養照会について伺う。

**健康福祉部長**：生活保護法及び

厚生労働省が定める実施要領等に基つき実施しており、DVや虐待の経緯があるなど調査を行うことが適当でない場合、長期入院や10年程度音信不通などで扶養の履行が期待できないと判断した場合は調査を不要としている。扶養義務調査が精神的負担となり生活保護の申請をためらうことのないよう、調査の主旨を丁寧に説明する。

**議員**：生活保護は国民の権利であり、ためらわずに相談するよう周知する必要があるが見解を伺う。

**健康福祉部長**：生活保護の主旨を踏まえ、周知の内容や方法を検討する。

**議員**：生理の貧困について、学校における対応について伺う。

**鈴木教育次長**：生理用品は、緊急時などに保健室で配付をしているが、コロナ禍の貧困対策の一つとして臨時交付金を活用し、要保護児童・要保護児童などを対象に保健室での対応を拡充する。学校トイレへの設置については、管理や衛生面の問題や、貧困対策として本来に必要な人に届くのが難しい面がある。学校側と調整し検討していくが、まずは保健室で確実に配付できるやり方をプライバシーを考慮しながら調整していく。

(その他の質問)

○市の財政悪化の下での、市民との協働のまちづくりについて



福田 道夫 議員  
(日本共産党)

動画視聴▶



## 指定ごみ袋料金の見直しについて

**福田道夫議員**：家庭ごみ減量化

の取組について質問する。

**矢嶋市民環境部長**：減量化には有料化だけでなく適正な分別と資源化の推進も重要である。このため、スマートフォンの資源・ごみ分別アプリ「さんあくる」の配信、生ごみ処理機器の購入費用の助成、資源物回収を行う団体への報奨金交付等を行っている。また、市広報紙でごみ排出量や減量効果等を定期的に掲載し啓発に取り組んでいる。

**議員**：家庭ごみ排出量の推移について質問する。

**市民環境部長**：平成29年度は年間2万209トンだったが、有料化後の平成30年度は約21パーセント減の1万6007トンだった。しかし令和元年度と2年度は若干増加傾向にあり、リバウンドやコロナ禍のステイホームの影響と捉えている。燃えるごみの排出量については、第2期日光市一般廃棄物処理基本計画の計画値に近い水準であるが、県や

全国の水準より高いことから一層減量化に取り組む必要がある。

**議員**：平成30年に家庭ごみ有料化となり導入後3年から5年後に見直しを行うとしているがその取組を質問する。

**市民環境部長**：昨年10月に、公募や各種団体からの推薦による方で構成する「日光市ごみ減量化等検討委員会」を開催し検証等に着手した。今年度は市の実績や経費、他市町の状況等をもとに検証し、意見を集約していく。

**議員**：市民の声を聴くためのアンケートを実施する考えは。

**市民環境部長**：検討委員会は、公募のほか、自治会、女性団体連絡協議会、観光関係など広く各団体から推薦されている。様々な視点から総合的に検討していただけることから、市民アンケートの予定はない。しかし市民の理解と協力が必要であり、周知・広報に努める。

**議員**：市長の目指す施策の一つに指定ごみ袋の料金見直しがある。どのように進めるのか市長の見解を質問する。

**粉川昭一市長**：検討委員会の結果を踏まえて、今後の方向性を十分に検討したうえで決定していきたい。

(その他の質問)

○市営住宅の管理について  
○市長の政治姿勢について



斎藤 久幸 議員  
(グループ響)

動画視聴▶



## 鬼怒川温泉の廃墟と なったホテルについて

**斎藤久幸議員**：一昨年に、廃墟

となったホテルの防犯対策、

観光面の影響について質問したが、進捗状況を伺う。

**近藤企画総務部長**：老朽化した大規模民間施設の把握や現状分析などを進めてきたが、所有者を特定できないケースや権利関係が複雑なケースなど、市の直接的な関与が難しいことが多い。市が施設解体の財源を確保することも困難である。そこで令和元年度に県に対し、国に新たな制度や費用負担等の支援を働き掛けるよう要望した。

また、解体費用や工期の試算、源泉施設など周辺に及ぼす影響調査等を宇都宮大学に委託して実施することとしている。

**議員**：この問題の解決には、県の予算が必要であるが、どのような観点で要望し対応していくのか。

**上中哲也副市長**：国の補助事業としては、空き家対策総合支援事業やコロナ禍において一

時的に措置された既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業などがあつたが、いずれにしても市の負担分を支出する余力がない。県も含め、今後も充実した制度を国に働き掛けていきたい。

**議員**：固定資産税の取り扱いについて伺う。

**鈴木財務部長**：所有者が特定できないが課税されている。

**議員**：市長に、今後の取組について聞く。

**粉川昭一市長**：老朽化した大規模民間施設は、観光都市日光のイメージダウンを招くものである。また倒壊の危険や不法侵入など市民生活の安全性を脅かすと懸念している。子や孫に負の遺産を残さないよう、国や県、関係機関とも連携し解決に向けて努力していく。

(その他の質問)

○小学校高学年から導入された英語授業について





和田 公伸 議員  
(光和)

動画視聴▶



## 市の水道事業について

**和田公伸議員**：水道事業の現状について伺う。

**鈴木上下水道部長**：令和元年度末、給水戸数3万5757戸、年間給水量1429万7685立方メートル、給水人口普及率は97.7パーセントである。水道施設は、浄水場35か所、配水場3か所を設置し運転及び維持管理を民間業者に委託している。

また、老朽管路の更新、施設の長寿命化などを計画的に行い、良質で安全安心な水の安定供給、効率的な維持管理に努めている。

**議員**：日光市水道経営戦略では令和12年度まで料金の改定はしないとしているが見通しは。

**上下水道部長**：長期の見通しでは黒字であり改定しない。  
**議員**：これまで、災害などの非常時に問題はなかったか。

**上下水道部長**：大雨により源水の濁度が上がると浄水のため、の薬品が多く必要になるが、令和元年の台風19号の際、薬

品の供給業者から納入がされなかったことがあった。結果としては維持管理の受託業者が他の業者から薬品を入手し解消した。

**議員**：その際、薬品供給について他の業者と改めて契約すべきと考えるが。

**上下水道部長**：契約では薬品が入手できないことが発生した場合に契約解除するとの条項がある。解除すべきだったかもしれないが、今回は市が関わることなく受託業者の責任において入手できた。

なお契約を解除した場合は改めて入札を行う。また市の損害が発生した場合は業者に賠償してもらう。

**議員**：当該供給業者の業務について、品質や納期を遵守しないなどの問題がなかったか伺う。

**上下水道部長**：薬品などは異常気象により通常より多く発注することがある。発注は、受託業者が必要性を判断して行っている。品質や納期に問題があったとの報告はない。

**議員**：業者の選定などにおいてチェックの甘さがあるのではないか。水道事業管理者である市長の考えを聞きたい。

**粉川昭一市長**：命を守る水の供給に万全の体制で臨まなければならぬ。今後しっかりと取り組んでいきたい。



齊藤 正三 議員  
(市民フォーラム志向)

動画視聴▶



## 照明の2020年問題について

**齊藤正三議員**：民間提案制度「ESCO事業」について伺う。

**鈴木財務部長**：老朽化したエネルギー効率の低い設備を、高効率の省エネルギー設備に改修するにあたり、改修経費を光熱水費の削減分で賄う事業で、専門的知識を持つESCO事業者が診断や設計、運転、資金調達など包括的に行うほか、省エネルギー効果の保証を含む契約形態をとることで自治体の利益の最大化を図ることができるとしている。市は昨年度、公共施設等に関する民間提案制度を創設しており、事業化に向けての協議を迅速に進めることが可能となった。

**議員**：市のLED化の事業内容について伺う。

**財務部長**：小中学校の教室・体育館のLED化について、民間事業者から提案があり、照明の2020年問題も踏まえLED化を迅速に進める必要があること、インシャルコストがかからず新たな財政負担

が生じないこと、短期間で一斉更新できることなどの理由により採択した。費用面では、市が直営で整備した場合は9億円以上、今回の提案ではおよそ6億円であり、相当の効果があると捉えている。また事業期間を15年と想定しているが、現在の市の電気料金が新電力事業者との契約により通常に比べ安価であり、省エネルギー化による削減額が低いことによるものである。

**議員**：保育園・幼稚園のLED化について伺う。

**財務部長**：保育園・幼稚園は規模が小さいのでESCO事業では難しい。直営で段階的に行う。

**議員**：街路灯の道路用照明台帳のデータベース化及び年間電気料について伺う。

**北山建設部長**：台帳については一部を除き紙ベースの台帳で管理している。街路灯は1690灯、そのうち65灯はLEDである。昨年度の電気料は約1847万円だった。

**議員**：街路灯のLED化についての計画を伺う。

**建設部長**：街路灯のLED化は電気料やランニングコスト、環境負荷の面から早期に取り組みたいと考え準備を進めている。今年度の民間提案制度の募集に道路照明を含めた。

(その他の質問)  
○消防団員の待遇改善策について



三好 國章 議員

動画視聴▶



### 高齢者福祉行政計画について

**三好 國章 議員**：特別養護老人ホームの特例入所について伺う。  
**斎藤健康福祉部長**：要介護1または2であっても、認知症や知的障がい・精神障がいであり日常生活に支障を来すような場合、深刻な虐待などにより安全安心の確保が困難な場合、単身世帯など家族等による支援が困難で地域での介護サービス等が不十分な場合には入所対象となる。これは、入所判定の公平性を確保するため国が示している基準で、施設では入所判定委員会を開催して入所の可否を決定している。

**議員**：認知症の方が認知症の方を介護する認識介護の対策について伺う。

**健康福祉部長**：医療・介護・福祉の専門職が連携して早期に発見し適切な医療や介護のサービスにつなぎ、特に地域包括支援センターを中心に健康や権利擁護など様々な課題に対応することが必要である。

**議員**：特別養護老人ホームなど

として、廃校になった校舎を利活用する考えを伺う。  
**健康福祉部長**：第8期介護保険事業計画に基づいて、民間から整備事業者を公募する予定である。事業者から提案があれば介護保険の基準に基づき検討する。

### 日光国立公園とラムサール条約について

**議員**：奥日光における自然環境保全法について伺う。  
**矢嶋市民環境部長**：国立公園については、自然公園法において自然の風景地の保護とその利用増進を図ることにより、国民の保健、教養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としている。また、日光国立公園のうち、湯ノ湖、戦場ヶ原などを区域とする「奥日光の湿原」は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(ラムサール条約)に登録されており、水鳥だけでなく、私たちの生活環境を支える重要な生態系として、湿地の保全や再生、賢明な利用のため、交流や参加等の普及啓発活動を進めている。なお、自然環境保全法に基づき指定する「自然環境保全地域」があるが、奥日光地域については指定されていない。

(その他の質問)  
 ○中宮祠地区の水道水について



荒川 礼子 議員  
(公明市民クラブ)

動画視聴▶



### 乳幼児の視力検査について

**荒川 礼子 議員**：3歳児健診の視力検査の現状について伺う。  
**斎藤健康福祉部長**：3歳児健診にあたっては、対象児の保護者へ事前に「お子さんの目に関するアンケート」を送付し、自宅での絵指標による視力検査や、保護者による目つきや見え方等の確認を行っている。健診当日は、保健師がこのアンケートの記載内容を確認しながら目の状況を観察し、必要に応じて絵指標の再検査、診察医師による異常の有無の確認をする。さらに二次健診基準に該当した場合は、紹介状を作成し眼科への受診勧奨を行っている。

**議員**：弱視の早期発見・早期治療のための検査機器による視力検査の導入について伺う。

**健康福祉部長**：厚生労働省通知や乳幼児健康診査身体診察マニュアルにおいて屈折検査機器を用いた検査は指定されていないが、既に機器を導入している県内他市では、導入前と比べて要精検率と要治療

率が向上している。目の異常を早期に発見することは早期治療による改善効果も期待でき、機器による検査は有効な方法であると捉えている。屈折検査機器は100万円以上と高額であるが、レンタルや購入の方法があるため、それぞれのメリット・デメリットを考慮し、3歳児健診従事医師の了解を得たうえで来年度の導入に向けて準備を進める。

**議員**：早期発見・早期治療で改善が期待できる。なるべく早い時期に導入する考えは。

**粉川昭一市長**：導入方法の検討、医師との協議の上、なるべく早く導入したい。

(その他の質問)  
 ○障がいのある方にやさしいまちづくりについて  
 ○SDGsの推進について





## 観光産業常任委員会

観光産業常任委員会は、5月31日に常任委員会を開催し、粉川昭一議員辞職に伴い、空席となっていた副委員長の互選を行い、斎藤久幸委員が新たに選出されました。

斎藤副委員長からは、「コロナ禍で大変厳しい時ではあるが、皆様と協力し、一致団結して日光市観光産業の発展のため頑張っていく。」との挨拶があり、新たな体制で観光産業常任委員会がスタートいたしました。

6月4日の6月定例会付託議案審査において、観光産業常任委員会に付託された議案は2件でした。議案第86号「日光市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」は、民生教育常任委員会との連合審査を行い市民環境部長から説明を受け、質疑、討論の後、採決を行い全会一致で原案を可決いたしました。

議案第88号「日光市下水道条例の一部を改正する条例の制定について」は、上下水道部長から説明を受け、質疑を行いました。「今回の改定は安定化を図るための改正。今後でも改定があるのか。」という質疑に対して、「日光市下水道事業経営戦略の計画の中で、3年ごとに使用料の見直しを検討することになってい

るため、その時の状況をみて判断していく。」との答弁がありました。討論の後、採決を行い、全会一致で原案を可決いたしました。

今年度は所管事務調査のまとめの年度であります。観光産業常任委員会の調査事項となっている「観光誘客について」及び「農業の担い手の育成・確保について」の調査については、今後の新型コロナウイルス感染症状況やワクチン接種の状況等を捉えながら、県内の受入可能な施設や先進地視察も含めて、あらゆる角度から調査、研究を行っていただきます。



## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

全国的にワクチン接種が進んでいる中、栃木県内、当市の接種率は比較的低いレベルで推移しています。当委員会は、6月4日に委員会を開き、今後のワクチン接種について調査いたしました。

執行部からこれまでの経緯、現在の対応状況、今後の対応方針、余ったワクチンの取り扱い等について説明を受けた後、委員から活発な質疑が行われました。その内容は、ワクチン接種にあたり車で移動できない独居高齢者の方々の移動手段の確保について、集団接種に移行した時の接種会場への移動が困難な方々への支援策について、潜在的な医療従事者の活用と歯科医師による接種について、県の大規模接種会場への移動手段の確保についてなど直近のワクチン接種に係る対応策や、国際観光都市日光としてワクチン接種を早急に済ませ、観光客をお迎えする体制を構築するために、観光・飲食・小売業等従事者を今後の対応方針に盛り込んで対応を図ることなど、多岐にわたり質疑や意見が出されました。それらを委員会として早急に取りまとめ、6月11日に以下の2点にわたり市に要望書を提出いた

しました。

① 移動手段の確保が難しいコロナウイルスワクチン接種希望者の接種場所（個別接種、集団接種、県の大規模接種）への移動手段を確保すること。

② 集団接種を進めるにあたっては、市の基幹産業であるホテル・旅館をはじめとする観光業、感染リスクの高い飲食業や小売業、クラスター発生の可能性が高い小中学校等、経済効果や感染拡大防止効果等による優先順位を見極めしつかり対応すること。

今後ともワクチン接種の進捗を注視しながら、必要な接種の方法等について議論を深めていきたいと思っております。



生井議長（左）から粉川市長に要望書を提出

## 総務常任委員会

- ▶ 6月4日 ○付託議案審査
- ▶ 6月4日 ○付託議案審査  
(新型コロナウイルス感染症対策特別委員会連合審査)
- ▶ 6月4日 ○日光市過疎地域持続的発展計画(原案)について
- ▶ 6月17日 ○常任委員会先進地視察について

## 民生教育常任委員会

- ▶ 6月4日 ○付託議案審査  
(新型コロナウイルス感染症対策特別委員会連合審査)
- ▶ 6月4日 ○付託議案審査
- ▶ 6月11日 ○常任委員会先進地視察について

## 観光産業常任委員会

- ▶ 5月31日 ○副委員長の互選について
- ▶ 6月4日 ○付託議案審査  
(民生教育常任委員会連合審査)
- ▶ 6月4日 ○付託議案審査
- ▶ 6月17日 ○常任委員会先進地視察について

## 広報広聴委員会

- ▶ 4月8日 ○4月25日発行広報紙について
- ▶ 5月27日 ○広報紙のフルカラー化について
- ▶ 6月14日 ○議会報告会について

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

- ▶ 6月4日 ○新型コロナウイルス対策センターについて
- ▶ 6月11日 ○要望書について

## 議員全員協議会

- ▶ 4月2日 ○アンケート調査について
- ▶ 5月11日 ○日光市における新型コロナウイルス感染症対策について
- ▶ 5月27日 ○令和3年6月定例会提出予定案件について
- ▶ 6月17日 ○日光市における新型コロナウイルス感染症対策について

## 議会運営委員会

- ▶ 4月28日 ○新型コロナウイルス感染症対策について
- ▶ 5月10日 ○新型コロナウイルス感染症対策について
- ▶ 5月20日 ○タブレット検討班班員の選任について
- ▶ 5月27日 ○令和3年6月定例会について(会期日程等)
- ▶ 6月28日 ○7月臨時会について

次回(令和3年9月)日光市議会定例会会期日程予定【会期8月31日(火)～9月30日(木)31日間】

月/日	曜日	会期日程	備考
8/18	水		陳情締切(17時)
8/31	火	本会議	開会・上程・議案説明
9/2	木	本会議	委員会付託
9/6	月	付託委員会	議案等審査
9/7	火	付託委員会	議案等審査
9/8	水	付託委員会	議案等審査
9/9	木	本会議	一般質問
9/13	月	本会議	一般質問
9/14	火	本会議	一般質問予備日
9/15	水	本会議・決算審査特別委員会	採決
9/16	木	決算審査特別委員会	分科会審査
9/21	火	決算審査特別委員会	分科会審査
9/24	金	決算審査特別委員会	分科会審査
9/30	木	決算審査特別委員会・本会議	採決・閉会

※ この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。  
問合せ先 0288-21-5140(議会事務局直通)

## 編集後記

令和3年(2021年)も半年が過ぎ、この原稿を書いている今日6月21日は夏至です。一年を二十四等分し、季節を表す区切りである「二十四節気」の十番目。一番昼の時間が長い日ですが、今日を境に昼の時間が短くもなります。これから暑くなる季節なので、健康に十分注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症対策は、大規模検査とワクチン接種、医療機関と生活困窮者への支援など、引き続き市民の命と健康を守るために頑張り時です。

これまでコロナ禍で会議時間の短縮や休憩を取るものがありませんでしたが、6月定例会の一般質問は従来の50分に戻りました。新市長・執行機関との健全な緊張関係をもちながら、市政運営をしつかり監視します。

(M・F)



# 市議会って どんなトコ?

～その②～

今回のテーマは

## Q 「定例会」と「臨時会」

市長が計画した仕事やお金（予算）の使い方や市の決まり（条例）などについて、市議会議員がそれでよいかどうかを話し合って決定するため、年4回、市議会が会議を開きます。これを「定例会」と言います。日光市は規則で2月、6月、9月、12月に定例会を開くことになっており、各定例会の会期（※）は、そこで話し合う事の件数や内容に応じて、市議会が考えて決定します。

定例会は毎年4回開いています。定例会と定例会の間の時期に、どうしても市長が市議会に決定してもらわなければならない事がある場合に、臨時的に市議会が開く会議を「臨時会」と言います。令和2年に日光市議会が開いた臨時会は4月28日、5月22日、7月22日の3回でした。

（※）会期とは、定例会の始めの日から終わりの日までの期間のことを言います。令和2年の日光市議会では、2月定例会が2月14日から3月24日までの40日間、6月定例会が5月29日から6月18日までの21日間、9月定例会が8月31日から9月29日までの30日間、12月定例会が11月30日から12月16日までの17日間でした。2月定例会が40日と長いのは、他の定例会では行わない次年度予算案の審議があり、その審議に時間がかかるためです。

## 表紙写真を募集します!



日光市議会では、広報紙「市議会からこんにちは」の表紙写真を広く市民の皆さんから募集します。自分が撮った写真が掲載されるかも!?皆さんの応募をお待ちしています!

### 📷 [応募方法等]

作品はデジタル画像のみとし、写真のタイトル、紹介文等必要事項を応募シートに入力のうえ、日光市議会事務局までメールで申し込みください。(セキュリティの都合上、メールでの申し込みのみといたします。)

詳しくは、日光市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.nikko.lg.jp/giji/gyousei/gikai/gikaikouhoushi.html>



この広報紙は自然保護のため  
ベジタブルインクを使用しています